

平成7年度における腸内病原微生物検出状況

微生物課 臨床検査係

表1に平成7年度に実施した健康診断等の一般検便、食品取り扱い従事者等を対象にした勧奨検便、赤痢、チフス、コレラ等の防疫検便からの腸内病原微生物検出状況を示した。

行政検査（防疫検便）ではネパールから帰国した海外旅行者下痢症の自己申告者1名から *Shigella sonnei* を検出したのをはじめとして、計17名からなんらかの病原微生物を検出した。最も多く検出したのは病原大腸菌でETECを10名から、EPECを6名から検出した。ETECの血清型の内訳は027:H7（ST産生）がフィリピン帰国者2名とマレーシア帰国者1名、0169:H41（ST産生）が台湾と中国帰国者各々1名、OUT:HUT（ST、LT産生）がインド帰国者2名、025:H-（ST産生）がフィリピン帰国者1名、027:H-（ST産生）がフィリピン帰国者1名、OUT:HUT（LT産生）がネパール帰国者1名であった。また、赤痢アメーバの接触者2名より横川吸虫卵を検出した。横川吸虫卵が検出されたこの2名は症状もなく、摂食状況も不明であった。

依頼検査（一般および勧奨検便）から検出したサルモネラは昨年度の49株から減少したものの31株と多く、その血清型は多様であった。また、この数年当市で検出数の多かった *S.Enteritidis* は減少した。

表2に検出したサルモネラの血清型を示した。

表2. サルモネラの血清型

血 清 型	依 頼 検 査
O 4	
d:1,7	<i>S.Schwarzengrund</i> 1
f,g,s:-	<i>S.Agona</i> 1
l,v:en,z15	<i>S.Brandenburg</i> 2
z10:1,2	<i>S.Haifa</i> 1
O 7	
d:1,5	<i>S.Isangi</i> 1
g,m,s:-	<i>S.Montevideo</i> 2
l,v:en,z15	<i>S.Potsdam</i> 1
r:1,5	<i>S.Infantis</i> 3
O 8	
i:z6	<i>S.Kentucky</i> 1
l,v:1,2	<i>S.Litchfield</i> 1
z4,z23:-	<i>S.不明</i> 2
O 9	
g,m:-	<i>S.Enteritidis</i> 3
O 3,1 0	
eh:1,6	<i>S.Anatum</i> 4
l,v:1,6	<i>S.London</i> 1
l,v:1,7	<i>S.Give</i> 2
l,z13:1,5	<i>S.Uganda</i> 1
O 1 3	
g,f:-	<i>S.Havana</i> 2
O 3 5	
z4,z23:-	<i>S.Alachua</i> 1
O 不明	
k:1,5	<i>S.不明</i> 1

表1. 平成7年度の腸内病原微生物検出状況

区 分	検査件数	陽性件数	赤痢	サルモネラ								ETEC	EPEC	横 川 吸虫卵
				O4	O7	O8	O9	O3,10	O13	O35	O不明			
総 計	46167(92)	48(17)	1(1)	5	7	4	3	8	2	1	1	10(10)	6(6)	2
依 頼	小 計	45940	31											
	一 般	2421	2			1	1							
	勧 奨	43519	29	5	6	3	3	8	2	1	1			
行 政	小 計	227(92)	17(17)	1(1)								10(10)	6(6)	2
	コ レ ラ	16(9)	2(2)										2(2)	
	チ フ ス	32												
	バラチフス	30												
	赤 痢	61(12)	5(3)									3(3)		2
	海外旅行者 経 過 者	71(71)	12(12)	1(1)								7(7)	4(4)	
	17													

() 海外旅行者再掲